

# 加温ハウス栽培におけるマンゴー品種の特性

各品種の成熟期間は105～140日，6品種の糖度は「アーウィン」より高，高湿度による着色障害は赤色系品種でのみ発生

## 背景・目的

- ・鹿児島県を含む国産マンゴーの品種構成は，「アーウィン」1品種に偏重
- ・南薩，曾於，大島地区等の生産者の一部は，「アーウィン」以外の品種も栽培
- ・マンゴー品種の多様化を目的に，8品種の生育相，品質，着色障害等の特性を評価

## 成果の内容

マンゴー8品種の生育相，品質，着色障害等の特性を評価

- ・成熟期間は，105～140日
- ・10℃以上の積算温度は，1,800～2,410℃日
- ・果実重は，5品種では「アーウィン」と同等以上
- ・糖度は，6品種では「アーウィン」より高い
- ・高湿度による着色障害は，赤色系品種でのみ発生

表 各品種の果皮色，成熟日数，積算温度，果実重，糖度及び高湿度条件下における着色障害発生果実割合

品種	果皮色	成熟日数	積算温度(℃日)	果実重(g)	糖度(°Brix)	着色障害(%)	
						赤あざ症	まだら果症
タハール	赤	105	1,800	526	11.5	42	19
キャリー	黄	110	1,830	363	17.2	0	0
ジュビリー	赤	120	2,030	599	11.2	96	84
アーウィン	赤	120	2,010	522	12.7	85	63
マリカ	黄橙	125	2,180	528	17.3	0	0
アタウルフォ	黄	130	2,270	317	21.4	0	0
ゴールデンナゲット	黄橙	130	2,270	441	20.2	0	0
甘近星	黄橙	135	2,350	851	20.8	0	0
ベイリースマーベル	緑，黄	140	2,410	735	17.3	0	0

注) 1. 成熟日数：開花盛期から収穫盛期までの日数

2. 積算温度：開花盛期から収穫盛期までの日平均気温10℃以上の積算値

3. 着色障害：果実肥大期から成熟期まで高湿度条件下で調査



「アーウィン」における赤あざ症の事例



ゴールデン ナゲット アタウルフォ アーウィン

## 期待される効果

「アーウィン」に偏重するマンゴー品種の多様化

高湿度条件下では，赤色系品種以外の着色障害を回避する品種の普及

○普及対象・範囲 品種の多様化を指向する生産者及び指導者

鹿児島県農業開発総合センター  
果樹・花き部特産果樹研究室